

平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場会社名 株式会社ブロードバンドタワー 上場取引所 大
 コード番号 3776 URL http://www.bbtower.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 藤原 洋
 問合せ先責任者 (役職名) 人事総務グループシニアディレクター (氏名) 及川 茂 (TEL) 03-5573-8181
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	11,833	9.1	441	△21.9	418	△23.8	183	△32.9
23年6月期第3四半期	10,846	16.5	565	8.4	548	12.9	272	22.7

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 226百万円(△31.3%) 23年6月期第3四半期 329百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	2,111.02	2,105.41
23年6月期第3四半期	2,915.14	2,882.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	8,252	5,594	63.9
23年6月期	8,327	5,399	61.5

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 5,269百万円 23年6月期 5,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年6月期	—	0.00	—		
24年6月期(予想)				500.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,600	7.8	430	△45.6	400	△48.7	130	△58.7	1,498.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年6月期3Q	102,758株	23年6月期	102,625株
24年6月期3Q	15,960株	23年6月期	15,960株
24年6月期3Q	86,701株	23年6月期3Q	93,552株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 平成24年6月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、当第3四半期までの新株予約権の行使による増加株式数を反映させております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により企業収益は減少しており、設備投資についても積極的な動きはなく、雇用情勢も厳しい状況が続いております。さらに、海外景気の下振れするリスク及び国内の電力供給の制約等により、わが国経済が悪化する可能性があります。

このような環境のなか、当社グループでは、既存サイトでの新規顧客の獲得を進めるとともに、成長著しいクラウド・コンピューティングサービスの拡充、主力プロダクトである「Isilonシリーズ」のストレージ機器販売に加え、連結子会社である株式会社ビービーエフが行うECシステム構築支援・運用サービス及びTVショッピング支援事業に注力してまいりました。

特にクラウド・コンピューティングへの取り組みにつきましては、第2四半期に株式会社インターネットイニシアティブと協業し、従来から提供を行なっているFlex-Cloudにて培った技術力、顧客から高い評価を受けているきめ細かなサポート力を活かし、新クラウドサービス「c9（シーナイン）」の提供を開始いたしております。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は11,833百万円（前年同四半期比9.1%増加）、営業利益は441百万円（前年同四半期比21.9%減少）、経常利益は418百万円（前年同四半期比23.8%減少）となりました。なお、四半期純利益につきましては、法定実効税率の変更による繰延税金資産の取り崩しの影響もあり、183百万円（前年同四半期比32.9%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は以下のとおりであります。

①コンピュータプラットフォーム事業

コンピュータプラットフォーム事業では、スペースサービスにおきまして、西梅田サイトの稼働率向上もあり、全体の稼働率は83%（前年同期79%）と向上したものの、当社の主力プロダクトである米EMC社製の「Isilonシリーズ」のストレージ機器販売において、第2四半期に発生した一部顧客の商流変更に伴う影響により、コンピュータプラットフォーム事業の売上高は減少いたしました。

なお、クラウドサービスにつきましては、日本中央競馬会様よりスマートフォン向け情報提供サービスを受注し、スマートフォンに対応したサービスをアプリの企画・設計・開発からCMS（コンテンツ管理システム）提供等の運用支援まで全ての工程を提供いたしました。現在は、iPhoneおよびAndroid端末向けにリリースし、数多くのお客様にご利用頂いております。

以上の活動の結果、コンピュータプラットフォーム事業の売上高は6,258百万円（前年同四半期比1.0%減少）、営業利益は281百万円（前年同四半期比20.9%減少）となりました。

②Eコマースプラットフォーム事業

Eコマースプラットフォーム事業では、ECシステム構築支援・運用サービス及びTVショッピング支援事業を展開しております。

ECシステム構築支援・運用サービスにおきましては、新規ブランドの獲得を引き続き行った結果、当第3四半期連結会計期間末現在において、取り扱いブランド数は約350ブランドに増加いたしました。新規に獲得したブランドが順調に拡大したことにより、ECシステム構築支援・運用サービスの売上高は増加いたしました。

また、TVショッピング支援事業におきましても、TVショッピング事業者の株式会社QVCジャパンを中心とする国内の販売は好調に推移し、引き続き拡大しております。

以上の活動の結果、Eコマースプラットフォーム事業の売上高は5,575百万円（前年同四半期比23.3%増加）となりました。一方、利益面につきましては、海外展開および新サービスの準備等における新規投資費用の計上により、営業利益は160百万円（前年同四半期比24.3%減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し、8,252百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少432百万円、売掛金の増加121百万円及び投資その他の資産の増加196百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ268百万円減少し、2,658百万円となりました。これは主に、買掛金の増加249百万円、未払法人税等の減少206百万円及び長期借入金の減少405百万円によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ194百万円増加し、5,594百万円となりました。これは主に、配当の支払い43百万円及び四半期純利益183百万円の計上により、利益剰余金が139百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して432百万円減少し、2,616百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、421百万円（前年同四半期比55.2%減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益444百万円、減価償却費260百万円及び仕入債務の増加額249百万円等の増加要因に対し、たな卸資産の増加額103百万円及び法人税等の支払額332百万円等の減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、401百万円（前年同四半期比93.8%増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出98百万円及び投資有価証券の取得による支出220百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、453百万円（前年同四半期比64.8%減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出405百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高につきましては、コンピュータプラットフォーム事業の当社の主力プロダクトである米EMC社製の「Isilonシリーズ」のストレージ機器販売において、第3四半期までは新規顧客の獲得もあり順調に進捗しておりましたが、第4四半期は売上計画を大きく下回る見込みであり、当初計画の売上高を達成できない見込みであります。

利益につきましては、上記「Isilonシリーズ」の大口顧客のキャンセルに伴うストレージ機器販売の売上減少、および当初計画に織り込んでいなかった販管費が第4四半期に発生することに加え、法定実効税率の変更による繰延税金資産の取り崩しの影響もあり、当初の計画より大きく減少する見込みです。

販管費の具体的な増加要因と致しましては、来期に向けての当社サービスの認知に向けたクラウドEXPO出展を主とする広告宣伝費の増加、今後の成長に向けた創業以来初の新入社員10名強を主とする人員増強、手狭になったオフィススペース拡大に伴う新事業所開設費用等の発生によるものです。

以上の要因により、平成24年6月期の業績予想につきまして、連結では売上高15,600百万円（当初予想16,130百万円）、営業利益430百万円（当初予想650百万円）、経常利益400百万円（当初予想640百万円）、当期純利益130百万円（当初予想300百万円）となる見込みであります。個別につきましても、売上高8,150百万円（当初予想8,760百万円）、経常利益170百万円（当初予想330百万円）、当期純利益50百万円（当初予想190百万円）となる見込みであります。

当社は新経営体制のもと、今後のクラウド時代に対応するべく、自らの主たる事業であるデータセンターのインフラレイヤー事業により重点を置き、本事業を拡大してまいります。

また、上位レイヤーのビジネスにフォーカスしている企業群と共同事業を展開し、ブロードバンドタワーグループとして更なる成長に向けた様々な施策を行ってまいります。

なお、本日「平成24年6月期 業績予想の修正に関するお知らせ」も開示しておりますので、こちらも併せてご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(会計上の見積りの変更)

当第3四半期連結会計期間において、平成24年9月に本社を移転することを決定いたしました。これにより、移転に伴い利用不能となる資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、移転前の本社の不動産賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務についても、償却に係る合理的な期間を短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ6,746千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,049,073	2,616,137
売掛金	1,376,832	1,497,991
商品及び製品	199,736	302,794
仮払法人税等	—	43,595
その他	367,157	289,412
貸倒引当金	△2,993	△2,363
流動資産合計	4,989,807	4,747,567
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,289,641	1,185,545
機械及び装置(純額)	283,428	293,816
工具、器具及び備品(純額)	369,216	360,330
リース資産(純額)	18,786	8,997
有形固定資産合計	1,961,073	1,848,688
無形固定資産		
のれん	4,766	—
その他	52,222	140,971
無形固定資産合計	56,989	140,971
投資その他の資産	1,319,414	1,515,436
固定資産合計	3,337,477	3,505,096
資産合計	8,327,284	8,252,664
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,000,250	1,249,653
1年内返済予定の長期借入金	405,000	405,000
資産除去債務	—	38,630
未払法人税等	206,020	—
賞与引当金	27,986	23,490
その他	294,533	385,690
流動負債合計	1,933,791	2,102,465
固定負債		
長期借入金	405,000	—
資産除去債務	579,858	549,983
その他	8,648	5,860
固定負債合計	993,506	555,843
負債合計	2,927,297	2,658,308

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,320,535	2,323,205
資本剰余金	2,303,823	2,306,493
利益剰余金	2,731,007	2,870,702
自己株式	△2,228,332	△2,228,332
株主資本合計	5,127,033	5,272,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,791	△925
繰延ヘッジ損益	△4,307	△1,348
その他の包括利益累計額合計	△6,099	△2,273
新株予約権	9,360	15,468
少数株主持分	269,691	309,091
純資産合計	5,399,986	5,594,356
負債純資産合計	8,327,284	8,252,664

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	10,846,357	11,833,830
売上原価	9,246,279	10,248,435
売上総利益	1,600,077	1,585,394
販売費及び一般管理費	1,034,751	1,143,871
営業利益	565,326	441,523
営業外収益		
受取利息	1,307	725
為替差益	4,506	—
業務受託手数料	8,765	1,965
その他	4,737	885
営業外収益合計	19,317	3,576
営業外費用		
支払利息	18,259	11,430
出資金評価損	16,655	8,543
その他	944	7,122
営業外費用合計	35,859	27,097
経常利益	548,784	418,002
特別利益		
投資有価証券売却益	—	12,824
合意解約金	—	20,000
特別利益合計	—	32,824
特別損失		
固定資産除却損	16,361	3,010
投資有価証券評価損	108,672	—
賃貸借契約解約損	—	2,969
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	202,156	—
その他	18	—
特別損失合計	327,208	5,980
税金等調整前四半期純利益	221,575	444,847
法人税、住民税及び事業税	193,616	87,279
法人税等調整額	△297,540	135,140
法人税等合計	△103,923	222,419
少数株主損益調整前四半期純利益	325,498	222,427
少数株主利益	52,781	39,399
四半期純利益	272,716	183,027

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	325,498	222,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△355	866
繰延ヘッジ損益	4,110	2,959
その他の包括利益合計	3,754	3,825
四半期包括利益	329,253	226,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,471	186,853
少数株主に係る四半期包括利益	52,781	39,399

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	221,575	444,847
減価償却費	280,675	260,859
のれん償却額	14,299	4,766
株式報酬費用	2,368	6,934
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△238	△630
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,873	△4,496
受取利息及び受取配当金	△1,307	△725
支払利息	18,259	11,430
出資金評価損	16,655	8,543
合意解約金	—	△20,000
固定資産除却損	16,361	3,010
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△12,824
投資有価証券評価損益 (△は益)	108,672	—
賃貸借契約解約損	—	2,969
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	202,156	—
売上債権の増減額 (△は増加)	289,664	△82,804
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△255,846	△103,058
仕入債務の増減額 (△は減少)	260,586	249,403
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△16,213	△14,258
その他	92,542	15,001
小計	1,272,084	768,970
利息及び配当金の受取額	1,307	725
利息の支払額	△24,893	△15,853
法人税等の支払額	△308,063	△332,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	940,434	421,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△101,497	△98,021
ソフトウェアの取得による支出	△19,749	△85,965
投資有価証券の取得による支出	△113,763	△220,850
投資有価証券の売却による収入	—	61,651
敷金の差入による支出	—	△61,819
敷金の回収による収入	27,906	5,229
差入保証金の差入による支出	—	△1,300
その他	200	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,903	△401,075

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△405,000	△405,000
設備関係割賦債務の返済による支出	△4,210	—
リース債務の返済による支出	△14,697	△10,379
株式の発行による収入	16,020	4,199
自己株式の取得による支出	△879,852	—
配当金の支払額	—	△42,132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,287,739	△453,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	370	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△553,838	△432,936
現金及び現金同等物の期首残高	3,277,949	3,049,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,724,111	2,616,137

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータブ ラットフォーム 事業	Eコマースプラ ットフォーム 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,324,111	4,522,245	10,846,357	—	10,846,357
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,941	6,420	15,361	△15,361	—
計	6,333,052	4,528,665	10,861,718	△15,361	10,846,357
セグメント利益	355,492	211,825	567,318	△1,992	565,326

(注) 1 セグメント利益の調整額1,992千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータブ ラットフォーム 事業	Eコマースプラ ットフォーム 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,258,579	5,575,251	11,833,830	—	11,833,830
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,134	3,400	13,534	△13,534	—
計	6,268,713	5,578,651	11,847,364	△13,534	11,833,830
セグメント利益	281,115	160,362	441,478	45	441,523

(注) 1 セグメント利益の調整額45千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社グループは、生産に該当する事項がないため、生産実績に関する記載はしていません。

② 受注実績

当社グループは、受注生産を行っていませんので、受注実績に関する記載はしていません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)	前年同四半期比(%)
	金額(千円)	
コンピュータプラットフォーム事業	6,258,579	△1.0
Eコマースプラットフォーム事業	5,575,251	+23.3
合計	11,833,830	+9.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
ヤフー株式会社	3,564,976	32.9	3,485,480	29.5
株式会社QVCジャパン	2,178,281	20.1	2,959,996	25.0

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。